

月盛工業株式会社

業務内容 大手競合相手にも 搖るがぬ技術力

常に意識してきたことの一つが「特長ある商品の提供」だ。

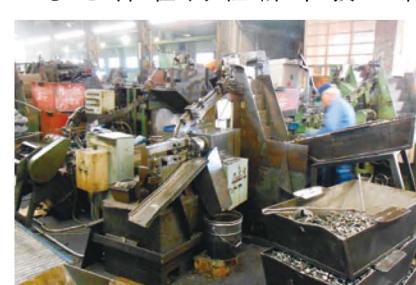
自由な発想力とともに 競争力とエコ化を推進

コスト相談
試作可
小ロット
量産対応



当社のボトルのファイバーフロー画像（左）

強み
他社の追随を許さぬ
抜群のコスト競争力



少数精鋭の技術者が活躍する工場内

国内のネジ製造企業は1万社を超すという業界にあって、競合が大手の数社のみという状況は極めて希有。同社が現在のポジションを築くにあたっては、業界内外で存在感を發揮することに成功している。

主に建築業界、中でも橋桁や高層ビル等の鋼構造物建設に用いられる大型の鉄鋼金属製品ボルトや頭付きスタッドの製造を手掛ける月盛工業。中でも、創業間もない頃から製造するハイテンボルトは、材料の入手が困難であることから、現在の競合はいずれも大手の高炉メーカー6社のみ。そこで同社では中小企業としての強みである「小回りの良さ」を活かし、長年の実績とノウハウをもとに少ない人員で大量生産が可能な体制を構築した。

主力商品である「高力トルシーアーボルト」においても、国内の競合はいずれも製鐵高炉メーカー系列の大手6社といふ状況に対し、対等どころか、大臣認定を取得する等、独自の技術力を市場性を訴求。同社は業界内外で存在感を發揮することに成功している。

主に建築業界、中でも橋桁や高層ビル等の鋼構造物建設に用いられる大型の鉄鋼金属製品ボルトや頭付きスタッドの製造を手掛ける月盛工業。中でも、創業間もない頃から製造するハイテンボルトは、材料の入手が困難であることから、現在の競合はいずれも大手の高炉メーカー6社のみ。そこで同社では中小企業としての強みである「小回りの良さ」を活かし、長年の実績とノウハウをもとに少ない人員で大量生産が可能な体制を構築した。

主力商品である「高力トルシーアーボルト」においても、国内の競合はいずれも製鐵高炉メーカー系列の大手6社といふ状況に対し、対等どころか、大臣認定を取得する等、独自の技術力を市場性を訴求。同社は業界内外で存在感を發揮することに成功している。

納品実績 品質と実績が買われる 単独受注納入

納品実績

品質と実績が買われる

単独受注納入

今後の展望 エコ化アイデアと 人づくりを推進

今後の展望

エコ化アイデアと
人づくりを推進

同社が推進する「ムダの削減」は新商品開発にも活かされた。それがエコボルトであり、従来の同サイズボルトと比較して9%も鋼材使用量を削減しながら、機械的性質は維持しているのが利点だ。近年、建設業界でも高まりつつあるエコ意識をいち早く捉えた製品であり、本工事の前に必要となる仮設事業における需要を確実に見込めることと共に、「企業は人なり」を信条に、大企業に負けない人づくりに注力していく」と塩川社長は話す。

同社が推進する「ムダの削減」は新商品開発にも活かされた。それがエコボルトであり、従来の同サイズボルトと比較して9%も鋼材使用量を削減しながら、機械的性質は維持しているのが利点だ。近年、建設業界でも高まりつつあるエコ意識をいち早く捉えた製品であり、本工事の前に必要となる仮設事業における需要を確実に見込めることと共に、「企業は人なり」を信条に、大企業に負けない人づくりに注力していく」と塩川社長は話す。

COMPANY PROFILE

月盛工業株式会社

大阪
JIS Q 9100



昭和37年にアメリカ向け輸出メーカーとして創業しました。昭和62年、私が代表に就いた後には国内専用工場として、現在の八尾市に本社工場を移転しました。材料入手が困難なハイテンボルト製造で積み上げた実績とノウハウを強みに、現在は高力ボルトや頭付きスタッド等、今後は社会貢献に一役買うエコボルトの製造・販売にも力を入れていく考えです。

野球でいうならば社員全員がピッチャー。「次の工程はお客様」の意識で臨みます。また、社員は宝物です。

代表取締役 塩川 純一さん

■主な事業内容

鉄鋼金属製品ボルト・頭付きスタッドの製造等

■主な取引先(納入先)

ネジ・ボルト専門商社等

住所 / 〒581-0051

八尾市竹渕西5-6

T E L / 06-6709-6277

F A X / 06-6707-7244

創業 / 昭和37年

設立 / 昭和59年

資本金 / 1,000万円

従業員 / 30名